



ゲイル・シュルツ インターナショナル フェローシップ

2022 年度の詳細, 応募願書・申請資料提出方法 及び 記入フォーム

働き者のゲイルの深い情熱や優雅なアンバサダーとしての務めは 50 年間にも渡り、ブルーデビルスだけではなく、ドラムコー コミュニティーを対象に熱心なサポーターと知られ、又 優雅なアンバサダーとしての役割や責任を果たしました。このような彼女の行動、優しさは、国境を越えた多くの人たち尊敬され、良きインパクトを与えた事に違いない。

ゲイルとブルーデビルスの関わりは 1971 年に娘のクリスティーンがトワラー(バトン)として入団、同年 息子 スティーブンがジュニア ドラム & Bell 隊に入団した事がきっかけに始まる。気が付く頃にはゲイルは 複数のブルーデビルス所属のプログラムの管理者、取締役役員、又 取締役会長としての任期もされていました。

Precision West Drum Corps 大会の開催責任者・議長として 10 年間、その後 さらに スタンフォード大学で開催されていた DCI West 大会を設立、支援、開催責任者・議長として 10 年間も務められました。又 マーケティング & デベロップメント (Marketing & Development) ディレクターとして ゲイルはイベント開発計画、採用活動、コンコード (Concord) 市や商工会議所、市民団体へブルーデビルスの名を PR しては地域応援、サポートを得ていました。

プロモーションマネージャーとしてゲイルはツアー中・オフシーズン中のスーベニア、ロゴアイテム、グッズ等 の管理を全てをコントロールし、ブルーデビルス初の E コマースオペレーションも立ち上げました。彼女は Drum Corps の活動に対し象徴的、かつ重要な”存在“になり、他にも他ドラムコーの組織に管理、運営の指導的の声、かつ友達としての役割、活躍も果たしました。ゲイルのおかげで各団体のスーベニア・トレーラー (けん引きされる貨物車) をつけたスーベニア・ロゴグッズの売り上げは上昇し、団体の金融資産への大きなアセットとなり、 何処の団体と関係ある・ないを意味せず、ドラムコーファンにとってイベントサイトには欠かせない、ソーシャルの中心となりました。

ゲイルは初期のころからブルーデビルス トワイラーとウインターガードの海外演技のツアーに関わっていましたが、1987 年以来、初のオランダ人メンバーであった、ポール・ドゥープさんがメンバーとして加わった以来、インターナショナルのメンバーに対してのサポート情熱は始まったと言われています。ドゥープ氏は今でもアメリカに到着した時、ゲイルが暖かく迎えてくれ、そして母国に居る家族へ彼のコンコードでの生活情報をインターネットが未だ日常的存在になっていない頃に定期的に連絡をしてくれていた事を思い出すと語る。それから年が経つにつれて 益々 インターナシヨ

ナルメンバーが憧れと夢のブルーデビルの一員となる為、アメリカに渡米し、そのたびにゲイルは彼らを自分の“翼の下”へと。彼女は出来る限り頻繁にオランダを訪れ始めることに。そしてブルーデビルのガードメンバーをヨーロッパへ交流留学させる手伝いにも関わった。彼女はその後、1992年にヨーロッパでブルーデビルの縮小型バージョンの演奏/演技プランニング、2000年には初のフル・ブルーデビルス インターナショナルツアーの全プランニングを担当し成功に満ちた。

ゲイルは1992年に大胆な一歩へと踏み出す。それはオランダに移り住み、ウェブスター大学ライデン校にてマーケティングとインターナショナル ビジネスを学ぶ事だった。この移住によって約2年の間、ブルーデビルスとの日常勤務からは離れましたが彼女の心の中には いつも ブルーデビルの存在があり、さらにヨーロッパ中のドラムコーの全てのイベントに行き、又 そのコミュニティと浸しくなることになります。

彼女がコンコードに帰国すると同時に、彼女のインターナショナルメンバーへのサポートの感心はさらに強くなる一方、彼女は引き続き インターナショナル メンバーが入団したら、自分の家へ心よく招きました。それからブルーデビルのインターナショナル・ツアーに積極手に手掛け、同行しました。日本で行われたマーチング・イン・岡山やフランスのニース (Nice) で行われたカーニバルパレード、2000年、2005年にブルーデビルス A 軍のヨーロッパ・ツアーは彼女が手掛けたツアーの証。又 2013年には南アフリカのヨハネスブルグで開催された Field Band Foundation Championship にブルーデビルスを代表として参加、2年後の2015年にはブルーデビルス インターナショナル コー (Blue Devils International Corps) という新しい組織にてスイスで有名な楽隊の祭典、“バーゼル・タトゥー”で最高の2週間のパフォーマンスを果たした。

2016年のシーズンが終わると共に、ゲイルは孫たちとの時間を費やすため、退職しました。それから4年後、2020年8月9日、フロリダ州にて78歳で亡くなりました。ゲイル・シュルツ インターナショナル フェローシップはその後、芸術(Art)・パフォーマンスを通じ、彼女のレガシーを守り続ける目的にて設立されました。

規約と条件

ゲイル・シュルツ インターナショナル フェローシップ (The Gail Shultz International Fellowship 以下 GSIF) は米国を拠点とする 2022 年度のドラム コー・インターナショナル (Drum Corps International 以下 DCI) が認可したジュニア・ドラム & ビューグル コー (World Class/Open Class 含む、だが Sound Sport/Drum Line Battle 除く) で演奏する資格(年齢制限有)のあるアメリカ国籍・市民外の者を対象とする。

GSIF は性別、人種、信条に関係せず、だがアメリカ国籍・市民の者は対象外とする。

GSIF はアメリカ合衆国 (United States of America)、カリフォルニア州(California) コンコード市 (Concord) に拠点を持つ米国・非営利活動法人 501(c)3 組織である BD Performing Arts によって管理されます。

2022 年度の G S I F は 2022 年度のシーズンに参加される者に配布されます。未使用、又 未請求の資金は GSIF に戻されます。

2022 年度の GSIF は最大 5,000(米ドル)、受領者が受け入れられた団体へ受領者の代わりに支払われます。

GSIF フェローは将来のドラムコー活動にポジティブなインパクトを長期的に与える者と前提し、選出されます。

GSIF はパスポート、ビザ、入学許可書、その他 法的資料・保護の支援はいたしません。

全ての応募願書・申請資料に関連する返信・回答は英語・英文にて提出する必要があります。

全ての応募願書・申請資料は機密情報として扱われます。

申請書・応募願書 チェックリスト

志願者本人が申請書・応募願書を記入、小論文の作成、全ての記載要領とされている書類を提出する必要があります。

プリントされた申請書・応募願書を郵便にて当事務所に送付された物はEメールでの代わりに提出した事にみなしません。応募願書・申請書はオンラインからの受付のみとなります。ご了承ください。

- 志願者情報と問い合わせインフォメーション(応募願書・アプリケーション・フォーム)
- それぞれ 250 語～500 語以内の小論文を3つ：小論文テーマ：バイオグラフィー、目標について、ゲイル・シュルツのレガシーについて。
- 2名別々の方からの推薦状。推薦状は志願者に送られ、申請書・応募願書と共に提出する事。責任は志願者本人となる。

全ての要望書類・必要書類は同時に提出する必要があります。

締め切り：2021年 12月1日 (水曜日) アメリカ西部・冬時間 12：00PM。

締め切り時間以降の応募願書・申請資料提出は全て無効とされます。

以下3つを英語小論文にて提出しなさい。

お題別に別用紙にて、以下を小論文にて答えなさい。貴方の名前を各ページトップに忘れず記入してください。

_____ バイオグラフィー小論文：250語以上、500語以内であなたとあなたの今日までの人生経験について述べなさい。

_____ 目標小論文：250語以上、500語以内で 何故 アメリカのジュニアコーにインスパイヤーされたのか、又 メンバーとしての目標は？そして メンバーとしての経験をどう将来に適用活用するか述べ なさい？

_____ ゲイル・シュルツ レガシー小論文：250語以上、500語以内。ゲイル・シュルツについて読んだ後、新名の感想、又 あなたはどうやって 彼女が望む支援やレガシーを世界中に芸術 (Art) とパフォーマンスを通して共有していきますか？

2名別々の方からの推薦状

1) _____

2) _____

全ての要望書類は同時に締め切りまでに提出する必要があります。

締め切り：2021年 12月1日 (水曜日) アメリカ西部・冬時間 12:00PM迄。